



Press Release

ロングリーチグループ 第 2 号パイアウト・ファンドを 4 億ドルで運用開始

【東京 / 香港 2012 年 10 月 4 日】 独立系投資会社ロングリーチグループ(以下、ロングリーチ)は、日本を主な投資地域とする第 2 号ファンド (Longreach Capital Partners 2, L.P.) を 9 月 30 日付けで設定完了し運用を開始致しました。クローリング金額は 4 億ドルです。日本および米国・欧州の有力機関投資家や大学基金に加え、アジアの大手投資家も含むグローバルな投資家の皆様からのコミットをいただくことができました。

第 1 号ファンドでは、三洋電機ロジスティクス等の大企業のノンコア事業買収や中堅企業の MBO 等、日本における戦略的事業再編と企業価値創出を実現する投資に実績を残してきました。第 2 号ファンドでもこうした実績と経験を活かしつつ、ロングリーチが得意とする産業テクノロジー分野、金融分野、ビジネスサービス分野等を中心に戦略的な事業再編に注力し、経済成長や産業活性化に貢献する独立系ファンドとして活動してまいります。

###

報道関係者からのお問い合わせ

クレアブ・ギャビン・アンダーソン 03-5404-0640 (服部)

ロングリーチグループについて (URL: <http://www.longreachgroup.com/>)

ロングリーチグループは、日本およびアジアにおける独自の戦略的プライベート・エクイティ投資を目的として 2003 年 10 月に設立された事業支援投資会社です。今後の日本産業の発展を担う企業のグローバルな事業展開を中長期且つ戦略的な視点から支援します。グローバルなネットワークに加え業界知識と地域に根ざした人脈および案件遂行能力を活かし、投資先企業の皆様へ高い付加価値を提供してまいります。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのサポートをしています。

2006 年 4 月に組成された第 1 号ファンド(約 825 億円)を通じて、これまでに日本マクドナルド、通信用海底・陸上用ケーブル大手のオーシーシー、モバイルおよびコマース事業を営むサイバード、台湾の安泰銀行、中国のアジア・アルミニウム・グループ、三洋電機ロジスティクスなどの投資案件を手掛けてまいりました。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。